

ドローン配送の仕組みを学ぶ

1/10

川根高校でドローンによる荷物の配送体験が行われました

川根高校で、1年生・2年生・3年生の約60人を対象に、ドローンによる配送体験が行われました。講師を務めた株式会社NEXTDELIVERY（山梨県小菅村）の担当者による説明を聞いた後、実際にドローンが校庭に飛来し、菓子が入った荷物を届けました。生徒は、携帯やタブレットでその様子を撮影したり、講師の指導のもとで小型ドローンの操縦体験を行いました。

参加した宮木一基さん（2年生）は「災害時以外にも、食料品やケーキなどの柔らかいものも崩さずに運ぶことができることに驚いた。今後更に普及することを期待したい」と話しました。



校庭に荷物を下ろすドローンと見守る生徒

あ!!っと驚き～不思議を体験～

1/25

マジックショーが開催されました



三志郎さんによるマジックショー

文化会館で「三志郎の新春マジックショー」が開催され、73人が来場しました。三志郎さんの巧みなマジックパフォーマンスに観客は驚きと感動の声を上げ、会場は大いに盛り上がりました。ショー終了後には手作り手品グッズづくりコーナーが設けられ、多くの子どもたちが参加し、自分だけの手品グッズを作りながらマジックの楽しさを体験しました。

また、1月24日（金）には三ツ星学園と光の森学園の3年生・4年生・5年生を対象に、三志郎さんによるマジック体験教室が開催され、児童や先生方がトランプを使ったマジックを楽しむ有意義な時間を過ごしました。

大井川鐵道被災区間の見学会を開催

1/28

区長と意見交換会メンバーが復旧課題を視察・議論しました

区長連絡会主催の「大井川鐵道被災区間の見学会」が大井川鐵道株式会社の協力の下で開催されました。当日は、各地区の区長と意見交換会メンバー24人が参加し、下泉駅から田野口駅までの約4キロを歩き、崩土のあった箇所を視察しました。途中、大鐵職員から被災状況について解説があり、枕木の腐食や設置地面の流出、トンネル内の変形など復旧課題が説明されました。

区長からは「土砂撤去以外の課題点」や「トンネル内の補強工事の進め方」などについて質問が寄せられ、復旧作業への関心が高まりました。



崩土箇所で被災状況の説明を受ける参加者

接岨地区の地域資源を活用して

2/5

接岨地区長島公園周辺の河川区域における営業活動への規制が緩和されます



川口管理所長(左)と藺田町長(右)

国土交通省中部地方整備局は、接岨地区長島公園周辺を「都市・地域再生等利用区域」に指定し、これに伴い、川口彦管理^{かわぐちかずひこ}所長^{そのだやすくに}が藺田靖邦町長に指定書を手交しました。

これを受け、藺田町長は「恵まれた資源を活用し、多くのイベントや賑わい創出の機会を通じて、地域を元気にしていきたい」と話しました。

一方、川口所長からは「温泉や星空などの資源を活かして、接岨地区の賑わい創出が進んでいき、地域を盛り上げていただくことを期待します」とのお言葉がありました。

生徒が探究学習の成果を発表

2/6

川根地域交流会が開催されました

川根高校で「川根地域交流会」が開催され、同校の生徒と連携中学の生徒約70人が参加しました。

この交流会は、1年間の探究活動の成果を発表する場であり、生徒や地域住民ら約250人が来場しました。プログラムは2部構成で、前半は生徒が「人文科学」「社会科学」「自然科学」の分野に分かれて発表し、観光と防災意識向上に繋がる企画提案や地域マップの多言語化などが紹介されました。後半の分科会では8つのブースに分かれ、来場者は興味に応じて発表を聴き、生徒との交流を深めました。この交流会は、生徒たちが学びを地域に還元し、地域住民との関係を築く貴重な機会となりました。



ブースに分かれて発表する生徒

ホールに響く感動のハーモニー

2/9

各地域の合唱団が集結、音楽に癒やされる一日



コーラス コスモス(上)とコーラス リベルテ(下)

「第36回広域ふれあい合唱祭」が島田市民総合施設プラザおおるりで開催されました。

主催は広域ふれあい合唱祭実行委員会で、参加団体は町内の「コーラス コスモス」や「コーラス リベルテ」を含む、島田市、牧之原市、吉田町の合唱団9団体です。演目は「時代」や「コーラスかあさん」など約20曲が披露され、その美しい歌声で来場者を魅了しました。

合唱祭の最後には全員合唱で「大地讃頌」を歌い、感動的なフィナーレを迎えました。地域の文化交流と音楽の楽しさが感じられる素晴らしいイベントとなりました。